

聴き伝わるもの、聴き伝えるもの

—20世紀音楽から未来に向けて—

第17回

I'ANNHΣ

クセナキス

生誕100年

ΞENAKIS

第1部 電子音楽作品「エルの伝説」全曲上演

14:30開演 14:00開場 6号館110スタジオ

I.クセナキス エルの伝説

第2部 クセナキス+

16:00開演 15:30開場 講堂小ホール

A.ロゴテティス オデュッセイア

川島素晴 y=100x (2022年度国立音楽大学委嘱作品【世界初演】)

pf solo 井上郷子 / 現代音楽演奏実習履修生 他

I.クセナキス アホリプシス、アナクトリア、交換、オメガ

第3部 電子音楽作品「エルの伝説」全曲上演

18:30開演 18:00開場 6号館110スタジオ

I.クセナキス エルの伝説

※第1部と第3部は同じ公演内容です。

指揮 板倉康明 ピアノ 井上郷子

室内オーケストラ クニタチ・フィルハーモニック

演奏 現代音楽演奏実習履修生 他

企画 菊池幸夫 | 川島素晴

2022. 10.1土

© Famille Iannis Xenakis DR

会場：国立音楽大学 西武拜島線 / 多摩モノレール

「玉川上水駅」下車徒歩7分

※演奏会当日は学生駐車場(大学正門横)を無料でご利用いただけます。

第1部 6号館110スタジオ

第2部 講堂小ホール

第3部 6号館110スタジオ

全席自由席 一般：1,500円(税込) 高校生以下及び本学学生：無料 要チケット ※要学生証等提示

関連企画

おとなのためのミュージック・アトリエ アカデミー講座 川島素晴(本学准教授)による、本公演のプレ講座を開催。

9月23日(金・祝) 14:00 本学7号館201教室 受講料 一般：2,500円(公演チケット代含む) 高校生以下：500円 本学学生：無料

チケット発売日：9月5日[月] 予定 チケット申込み(一般・学生) 本学公式Webサイト内の専用フォームよりお申込みください。

QR

- 当日は受付にて、お申込み時のメール着信画面記載のQRコード画面もしくは出力用紙をご提示ください。
- 演奏会開催に際しまして注意事項がございますので、チラシ裏面または本学公式Webサイトを事前にご確認ください。
- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- Web申込みのご不明点などございましたらお問合せください。

[主催] 国立音楽大学 <https://www.kunitachi.ac.jp/>

[制作] 国立音楽大学演奏芸術センター

[後援] 特定非営利活動法人 日本現代音楽協会、一般社団法人 日本作曲家協議会

[助成] 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

お問合せ ▶ 国立音楽大学演奏芸術センター 042-535-9535



状況により、出演者・内容などの変更または演奏会が中止になる場合がございます。最新情報は事前に本学公式Webサイトにてご確認ください。

聴き伝わるもの、聴き伝えるもの — 20世紀音楽から未来に向けて —

2005年より毎秋開催してきたシリーズで、現代音楽のマスターピース(聴き伝わるもの)を軸に、毎回、作曲教員による新作(聴き伝えるもの)を上演。第16回佐川吉男音楽賞《奨励賞》を受賞した2017年の公演は、ブルーローズ《レボン》改訂版日本初演を中心としたプログラムで、このように演奏系学生を中心に難曲や大曲に取り組む内容に加え、作曲系学生による実験音楽の演奏も交え、常に現代音楽界の話題となってきた。

第17回 クセナキス生誕100年

20~21世紀を代表する作品＝「聴き伝わるもの」と、教員による新作＝「聴き伝えるもの」によるこのシリーズは、大学での学生中心の演奏でありながら、その演奏精度も高く評価され、現代音楽界の注目を集めてきた。本シリーズではブルーローズ「レボン」完全版日本初演など、巨匠の大作を取り上げてきたが、2022年はクセナキス生誕100年であり、国際的にクセナキス作品が多数上演される中、ここでもその特集を手がけることとした。1950年代、60年代、70年代、80年代、そして1997年の最後の作品という具合に、各年代から選曲することでその創作の歴史を概観。長大な電子音楽作品や、上演機会僅少な作品を中心とし、他ではなかなか聴けない内容となっている。

毎年恒例の創作系学生による演奏枠では、クセナキスと同じギリシャ出身で同年代の作曲家アネステス・ロゴテティスの図形楽譜作品を上演。川島素晴による新作は、クセナキスへのオマージュとなるピアノ協奏曲となっており、企画全体をクセナキス100年に寄せる内容とした。

企画 川島素晴(国立音楽大学准教授)

PROFILES

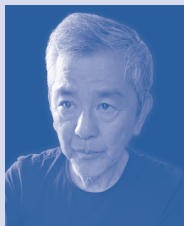


作曲 | 川島素晴 *KAWASHIMA Motoharu, composer*

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程修了。1996年ダルトムシュタット・クラニヒシュタイン音楽賞、1997年芥川作曲賞、2017年一柳慧コンテンポラリー賞等を受賞。1997年より毎年異なる個人や団体を迎えて作品個展を開催している他、2020年からは毎回異なる題材によるリサイタルシリーズも開始。アンサンブル東風の指揮メンバーをはじめ、ピアノ他様々な演奏活動も展開している。テレビ朝

日「題名のない音楽会」、NHK-FM「現代の音楽」をはじめとしたテレビ、ラジオ番組への出演も多く、現代音楽を中心とした企画、講演なども多数行っている。

(一社)日本作曲家協議会副会長。国立音楽大学及び同大学院准教授。



指揮 | 板倉康明 *ITAKURA Yasuaki, conductor*

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。故アンリエット・ピュイグ＝ロジェ氏から深い薫陶を受け、現在の多彩な演奏活動の礎を築いた。クラリネット奏者として東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。1996年横浜の第三回神奈川芸術フェスティバルで西村朗作品により指揮デビュー。以後、現代作品を中心に、活発な指揮活動を行っている。これまでに、サントリー・サマーフェスティバル、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、オーケストラアンサンブル金沢定期公演、プレゾンス音楽祭(フランス)、ミュージック・フロム・ジャパン(ニューヨーク)、現代音楽アスペクト

(カーンフランス)等、国内外の音楽祭に招聘されている。指揮者としてのレパートリーは広範囲に渡り、特に現代作品の演奏には各方面から高い評価を得ている。

2016年は、ボルドー・アキテーヌ国立管弦楽団定期公演を客演指揮、また、サントリー・サマーフェスティバルのプロデューサーを務め2公演の指揮を行った。

2001年より東京シンフォニエック音楽監督就任。第18回中島健蔵音楽賞を受賞。1997年度、1999年度、2015年度日本音楽コンクール委員会特別賞を受賞。国立音楽大学客員教授。国立ボルドー・ヌーヴェルアキテーヌ高等音楽舞踏学院教授。



ピアノ | 井上郷子 *INOUE Satoko, piano*

「ムジカ・プラクティカ・アンサンブル」のメンバーを経て、1991年よりソロ活動。「Satoko Plays Japan」をはじめとする多くのリサイタルを行ない、特に、近藤譲ピアノ作品・全曲演奏やモートン・フェルドマン作品の演奏等で高い評価を受ける。ISCM(ルーマニア)、プエノスアイレス現代音楽週間(アルゼンチン)、Festival für aktuelle Klangkunst(ドイツ)、Contempuls(チェコ)などの国際現代音楽祭からの招聘をはじめ、ヨーロッパ、南北アメリカ、中東各地でソロリサイタルを行なうとともに、リール大学、カイロ音楽院、カリフォルニア芸術大学、ギルド

ホール音楽院(ロンドン)などのマスタークラスで講師を務める。2008年よりコンサート・シリーズ“Music Documents”を企画・制作、「第1回両国アートフェスティバル2015」芸術監督、2018年ー2022年ピアノ拡張奏法に関するプロジェクト「未来に受け継ぐピアノ音楽の実験」に携わる。ソロCDアルバムは、HatHut Records(スイス)、Emec Discos(スペイン)、ALM Records(日本)等より計10タイトルが出版されている。第10回佐治敬三賞(サントリー芸術財団)受賞。東京学芸大学大学院作曲科修了。現在、国立音楽大学教授。

新型コロナウイルス感染症拡大予防について

ご来場に際しましては、下記ご参照の上ご協力賜りますようお願い申し上げます。今後の状況において、変更させていただく場合がございます。詳細は本学公式Webサイトをご確認ください。

対応

- 事前に全ての出演者・スタッフの検温、体調チェックをし、スタッフはマスクを着用いたします。
- 建物内は消毒液を設置し、定期的に消毒を行っております。
- 座席数は状況により、限定する場合があります。

お願い

- ご来場に際しまして、必ずマスクのご着用をお願いいたします。着用されていないお客様はご入場をお断りさせていただきます。
- 下記に該当する場合は、ご来場をお控えください。
 - ・ ご来場前に検温していただき、37.5度以上の発熱がある場合や体調不良の場合
 - ・ 政府所定の帰国・入国後の自宅待機期間に該当する場合
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
- ご入場前に検温をさせていただき、37.5度以上の方は入場をお断りさせていただきます。入場までにお時間がかかることが想定されますがご了承ください。